

児童,青年期の病気

講義レジメ

1. 児童・青年期の精神疾患の全体像
2. ICD-10による疾患分類
3. 発達障害 (ASD・ADHD・LD)
4. ストレス関連障害・摂食障害
5. 人格障害 (境界性パーソナリティ障害)
6. 国家試験における看護のポイント

到達目標

本講義終了後、学生は以下を説明できる。

1. 児童・青年期にみられる主な精神疾患を分類できる
2. ASD・ADHD・LDの特徴を説明できる
3. 摂食障害・人格障害の基本的病態を理解できる
4. 国家試験で問われる看護の視点を説明できる

思春期・青少年の精神疾患

1. 発達または器質性：

発達症(自閉スペクトラム症, 注意欠如多動症)
てんかん(周期性不機嫌症, 他)

2. 内因性： 統合失調症, 気分障害

3. 心因性： 適応障害, パニック症, 強迫症, 解離性同一性障害 摂食症, PTSD, 依存症

1. 人格障害： 境界性人格障害

2. その他： 家庭生活の諸問題(虐待, 養育拒否, 崩壊家庭) 愛着障害, 素行症, 性同一性障害

児童青年期疾患分類 ICD10(頻出)

F7知的障害

F8心理的発達の障害

 F81学習障害

 F84広汎性発達障害－自閉症

 アスペルガーなど

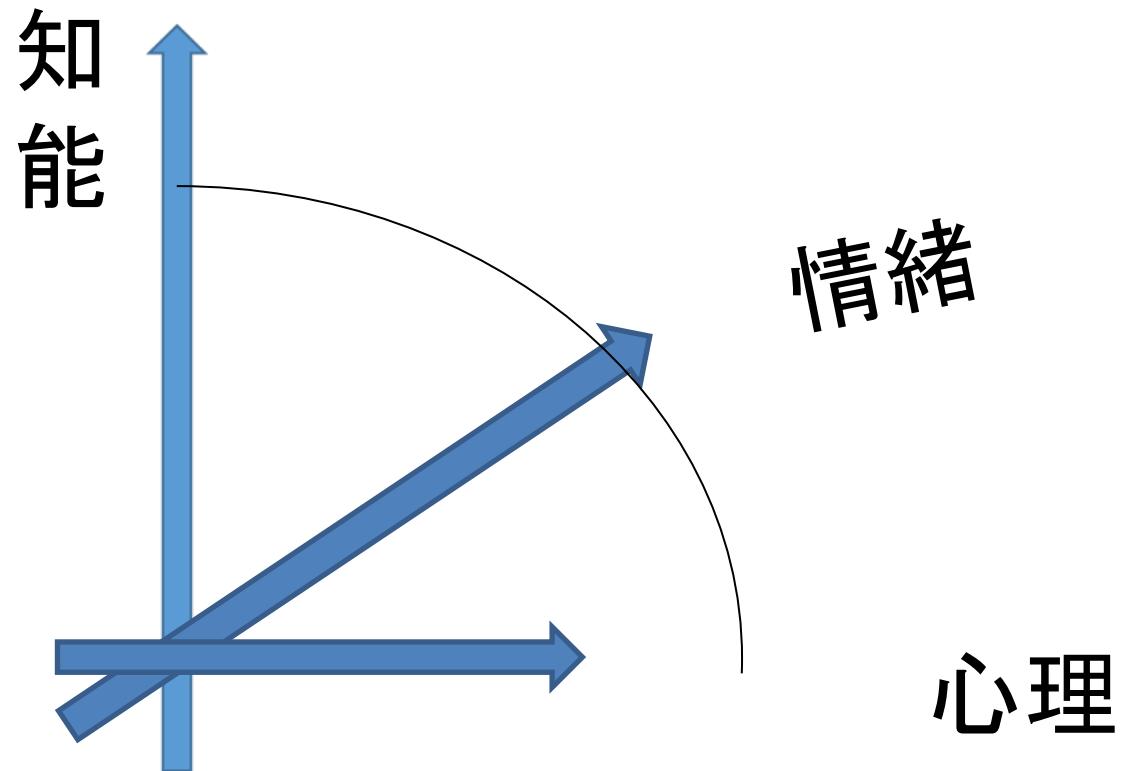
F9小児期および青年期に通常発症する行動

および情緒の障害

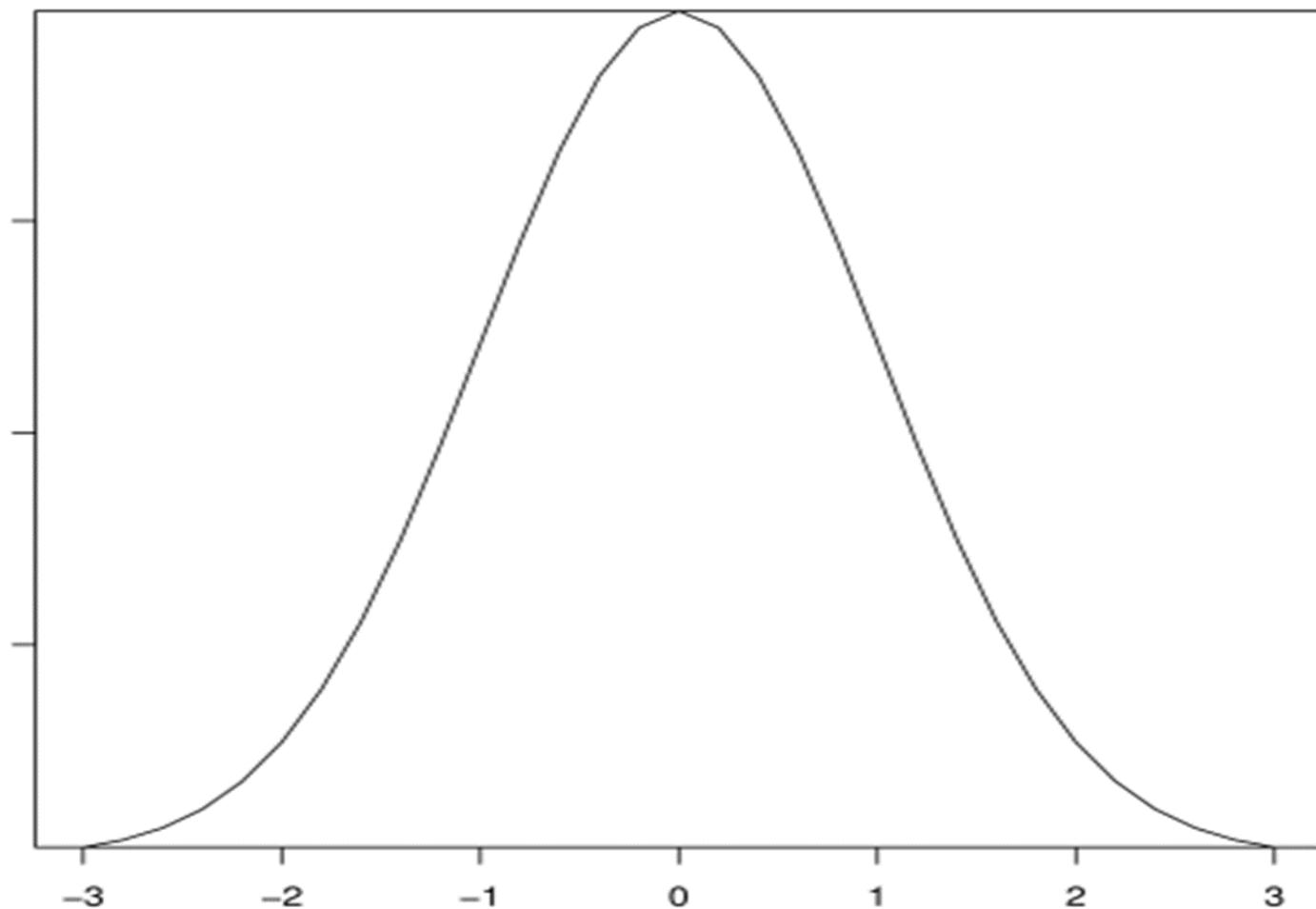
 F90多動性障害

 F91行為障害

発達とその個人差



正規分布



発達の障害の診断名

1. 知的発達

知的発達障害(精神遅滞)
学習症(LD)

2. 心理発達

自閉症スペクトラム症(ASD)
トウレット症候群

3. 情緒発達

注意欠如・多動症(ADHD)

4. その他

行為症
(性同一性障害)

児童・青年期の精神疾患

- ・ 発達障害 (ASD ・ ADHD ・ LD)
- ・ 内因性 (統合失調症 ・ 気分障害)
- ・ 心因性 (適応障害 ・ PTSD ・ 摂食障害)

ASDの3つの特徴 【暗記】

- ① 社会的相互関係の障害
- ② コミュニケーションの障害
- ③ 限定的・反復的行動

ADHDの3徴

- 不注意
- 多動性
- 衝動性

※二次障害：低い自己肯定感

学習障害 (LD)

知的発達は正常

- 読字障害
- 書字障害
- 算数障害

サヴァン症候群

イギリスの医師ジョン・ランドン・ダウンは1887年,膨大な量の書籍を1回読んだだけですべて記憶し,さらにそれをすべて逆から読み上げるという,常軌を逸した記憶力を持った男性を報告した.その天才的な能力を持つにもかかわらず,通常の学習能力は普通である彼をidiot savant(賢い白痴)と名付けた.

1. カレンダー計算
2. 映像記憶
3. 書籍,電話帳,円周率
4. 音楽

スクラム福井

福井県にお住まいの発達症(自閉症スペクトラム症・注意欠如／多動症・学習症など)のある方とそのご家族が安定して地域で生活できるように支援するセンター。

相談支援,療育支援,就労支援,普及啓発および研修の4つの柱から事業を展開。

地域若者サポートステーション(愛称:「サポステ」)

働くことに悩みを抱えている15歳～39歳までの若者に対し,キャリアコンサルタントなどによる専門的な相談,コミュニケーションプログラムなどによるステップアップ,協力企業への作業体験などにより,就労に向けた支援を行っています.

また,令和2年度より40歳代の無業の方への支援が拡大されました.
「身近に相談できる機関」として,全国の方が利用しやすいよう全ての都道府県に必ず設置しています.(全国177箇所)

サポステは,働くことに踏み出したい方とじっくりと向き合い,本人やご家族の方々だけでは解決が難しい「働き出す力」を引き出し,「職場定着するまで」を全面的にバックアップします.

サポステ福井 地域若者サポートステーション福井

ブランク,つまづき,就活に踏み出せない.

サポステは,そんなあなたに合った

{働く準備運動}ができる場所です

悩みを抱え込まずに,私たちと一緒に考えて行きませんか?

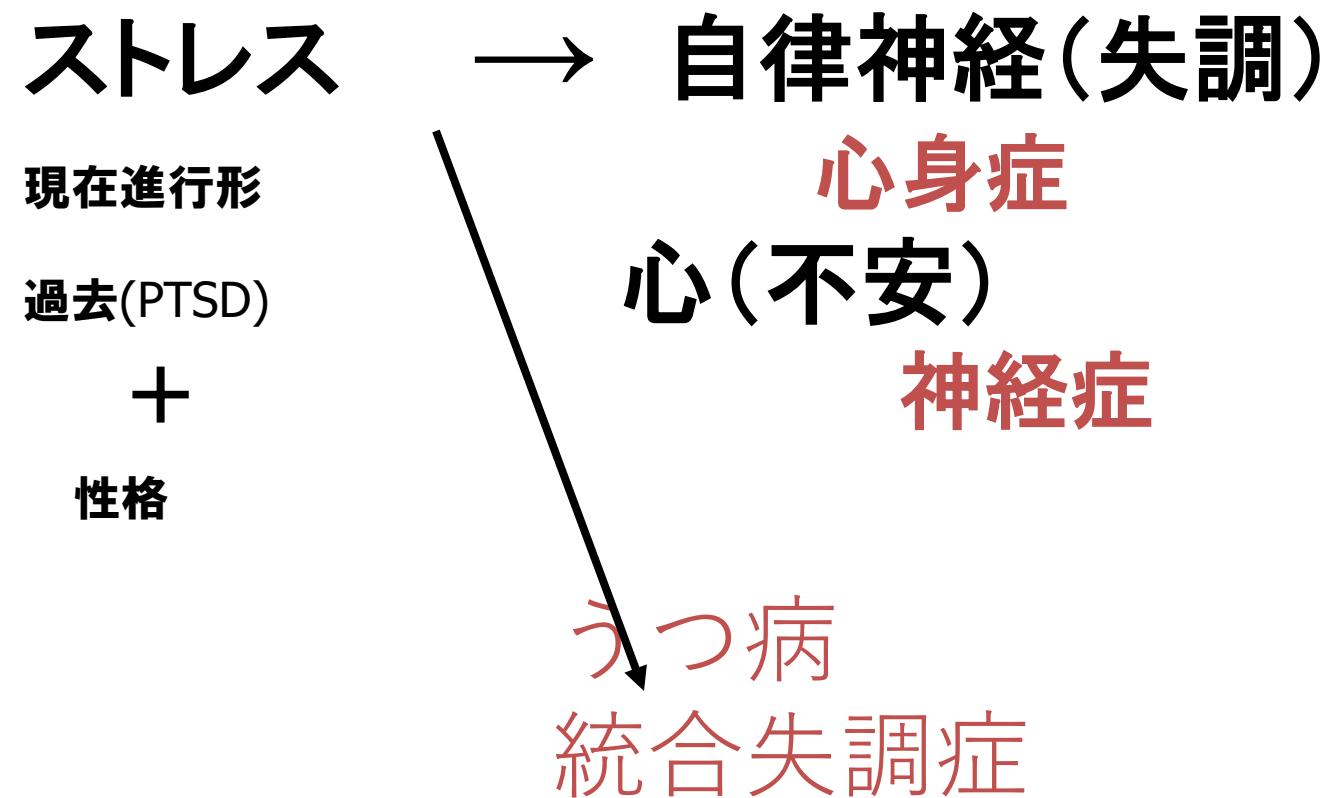
保護者・ご家族からの相談にも応じます.

対象者

サポステ対象者 通学や就業をしていない,義務教育終了後の15歳～39歳までの若者,またはその保護者・ご家族の方

サポステ・プラス対象者 40～49歳で,仕事に就いていない人とそのご家族

ストレスの構図



ストレスはどこへ行く

I. 自律神経の失調

心身症 ストレス潰瘍,潰瘍性大腸炎,
円形脱毛症,アトピー,喘息,
免疫機能障害

II. 心の不安

神経症(こだわり病)
強迫神経症,パニック
中毒乱用,摂食障害

問題行動の内容（症状）

- ・引きこもり
- ・自殺
- ・自傷(リスク)
- ・暴力,殺人(個人,集団)
- ・ストーカー
- ・その他 摂食障害(拒食,過食,異食)

強烈なストレスに傷ついたとき

- 比較的正常な反応
 逃避, 攻撃, 心身症
- こだわり(強迫)
- 自傷
 急性と慢性
- 解離

解離のメカニズム

期待に答えようとする自分と現実の
解離

挫折という外傷

引きこもるか,解離していくか

摂食障害【数値注意】

- ・ 神経性無食欲症：BMI低下・ボディイメージ障害
- ・ 神経性過食症：低K血症・齶歯・耳下腺腫大

BMI(Body Mass Index)

体重と身長から算出される肥満度を表す体格指数. 子供には別の指数が存在するが, 成人ではBMIが国際的な指標として用いられている.

境界性パーソナリティ障害

- ・見捨てられ不安
- ・感情不安定
- ・自傷・自殺企図

看護のポイント（試験対応）

- ・否定しない関わり
- ・環境調整
- ・家族支援
- ・多職種連携